

熊本県立荒尾支援学校進路便り 9月号 (通巻N0. 16)

わーく&らいふ

平成29年9月21日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

★特集「第1回重複障がい学級 施設体験」

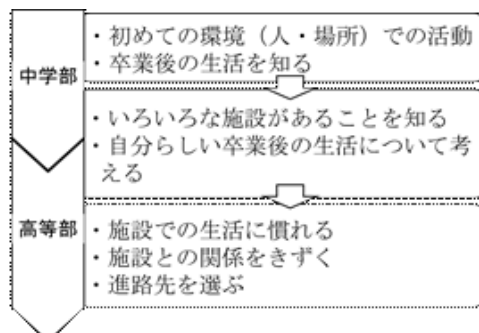
特集「第1回 重複障がい学級 施設体験」

重複障がい学級では中学部の段階から施設体験を実施しています。(下表参照)

ここでは、生徒の体験のみならず、保護者の皆様も体験のようすを見学したり、施設の代表者からの説明を聞いたりして、生徒も保護者も早期からの体験を繰り返しながら、自分(お子様)に合った施設を選ぶための、貴重な情報収集の場になっています。

今回のわーく&らいふは、重複障がい学級で6月～7月にかけ実施した第1回施設体験のようすを特集します。

中学部1年生にとっては初めての施設体験、そして高等部3年生にとっては進路を決める大事な体験となりました。



■中学部の施設体験

①たまきな荘(玉名市)

中学部の生徒3名で体験にいきました。茶道のクラブ活動や七夕飾り作り、ボウリングの活動に参加しました。茶道のクラブ活動では利用者の方の茶道の様子を見学し、できたお茶を飲ませていただきました。七夕飾り作りでは、飾りを作ったたまきな荘にある大きな笹に飾らせてもらいました。ボウリング活動は実際のボールとピンを使い本当のボウリングに近い体験ができて生徒たちも大満足でした。



②Sun ☆フラワー(荒尾市)

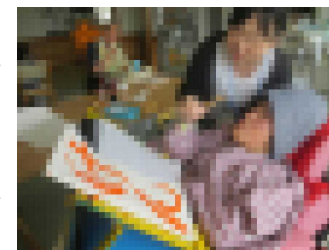
中学部の生徒3名で体験にいきました。紙すきの作業活動に参加しました。牛乳パックをちぎったり、スタンプシールを作ったり、商品のラッピングをしたりしました。自分の好きなように飾り付けをしてはがきも作らせていただきました。また、施設の利用者の方の休憩時間の過ごし方を見学して休憩時間の有効な使い方を勉強した生徒もいました。



■高等部の施設体験

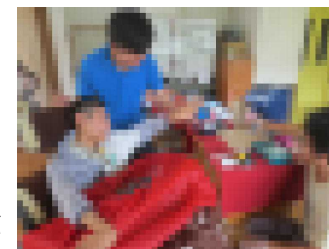
①たまきな荘(玉名市)

高等部の生徒3名で体験にいきました。音楽療法や習字のクラブ活動に参加させていただきました。音楽療法では、利用者の方の好きな曲を一緒に歌ったり楽器を使って演奏したりしました。習字のクラブ活動では習字の先生に見本を書いてもらい、実際に筆を使って文字を書きました。



②銀河ステーション(和水町)

卒業後の進路として利用を考えている高等部の生徒1名が体験にいきました。午前中はかき氷作り、午後はアロママッサージ体験に参加しました。かき氷作りではお客さん役と店員さん役を両方体験し、かき氷を作ったり食べたりしました。アロママッサージではバラの香りのアロマオイルを塗ってもらい、とてもリラックスした様子でした。



<編集後記>

生徒の実習や体験のようすはできるだけ直接見るようにしていますが、重複障がい学級の施設体験は、いつも素敵な雰囲気にも包まれているように感じます。

保護者の皆様や担任も同行する体験として計画されており、お子さんにとってはじめての場所でも、たくさんの人たちの温かい目に見守られることで安心でき、自信をもって活動できているようすがわかります。

この安心感は、身近な人への「愛着」となり、人への信頼につながり、ひいては自分も周囲の人たちへ優しさを発揮する土台になります。しっかりと子どもの「姿」に「言葉」に向き合い、よい関係を築いていきたいものですね。(谷口)

